

處
所
いう
郡
今回掃
が難しく
なり、とて
皆さんも

2014年度基礎ゼミ「地域復興とボランティア活動」実施ツアーの報告

基礎ゼミ「地域復興とボランティア活動」(担当:経済学研究科准教授・西出優子先生)では、1年生が4つの班に分かれて、課外・ボランティア活動支援センターの協力を得て、それぞれの地域の復興課題を学びながら、それを他の学生に伝えるためのツアーを企画・実施しました。前ページの福島ボランティアツアーの他、岩手県陸前高田市・宮城県仙台市若林区・宮城県山元町で実施したツアーについて報告します。

Tour 1 陸前高田市ボランティアツアー [6/27~29] 赤羽 郁哉 (法学部1年)

6月27日から29日にかけて行われた陸前高田ボランティアツアーを企画しました。27日は移動日で、28日は奇跡の一本松等の震災遺構の見学、仮設住宅の会長さんのお話を聞くことがメインでした。見学では、津波の残した傷跡の深さを改めて感じ、震災の原点に帰ることができました。会長さんのお話も、直接現地向かなければ聞くことはできないもので、大変良い経験になりました。29日は和野会館で陸前高田の郷土料理である「なべやき」を現地の人に教えてもらい、一緒に作り、子供たちに振る舞いました。なべやきを教えてくれた方々は非常に親切で、楽しく料理をすることができました。現地の人と交流でき、生の声が聞けたことは価値のあることだと思います。

ボランティアに参加することは被災地を考える上でとても重要です。データや文字からは読み取れない多くのことを体験できると思います。復興や被災地への理解を深めるためにもぜひボランティアに参加してみてください。



Tour 2 仙台市若林区復興視察 [7/5] 畠山 紳悟 (工学部1年)



7月5日「仙台市若林区復興視察～若林区の復興まちづくりの今～」として企画したこのツアーには23人が参加しました。午前中は、津波被害からの復興を考える地域住民の団体「荒浜再生を願う会」の貴田喜一会長から、津波被害を受け廃校となった荒浜小学校や、慰霊碑を案内して頂きました。参加者の半数が初めての被災地訪問であるためか、現在でも未だ津波の爪痕がありありと残る様子に驚きを隠せない参加者も多くいました。昼食には、茶房「希望」で若林区の野菜をふんだんに使ったうどんを頂きました。荒浜の復興に携わる作業員やボランティア、慰霊碑に赴いた地域住民に昼食を提供するために震災後「希望」をオープンし、これらの人々を陰ながら支えるため、採算を度外視して昼食と休憩スペースを提供する店主の関口さんの姿に参加者は皆、心を打たれました。

その後、若林市民センターの職員の方々や、東通仮設住宅の安達董会長からご講演頂き、ツアー後の感想共有の時間には、復興のためには行政と市民が意思疎通を円滑にすることが必要だとする参加者が多く、復興について深く考える良い契機となりました。

Tour 3 山元町スタディツアー [6/29] 川名 萌枝子 (工学部1年)

私たちは、山元町の現状や課題、また同時に魅力を知ってもらい、興味や理解を深めることで、今後山元町に何が 필요한のか考えてもらいたいという思いで、山元町スタディツアーを企画、実施しました。

午前中は、震災前後の山元町の写真が展示・保管されている「みんなの写真館」、駅舎が全壊した旧坂元駅、津波で全半壊しながらも、避難していた児童・地域住民の方々全員無事だった旧中浜小学校を「山元語り部の会」の方にご案内いただき、その後公民館で、住民の方々から震災当時の経緯、山元町の現状などのお話をうかがいました。

午後は、山元町のいちご栽培の活性化に取り組んでいる「山元いちご農園」で、設立の経緯や、いちご農家の現状について若佐社長にお話していただきながら併設されているBerryVeryLaboでいちごを使った料理やスイーツを堪能しました。

ただ行くだけでは表面上の理解しかできないと思いますが、実際に地元の方々にお話をうかがうことで山元町の様々な課題について考えることができました。ゼミは終了しましたが、これからも様々な形で被災地の復興支援に積極的に関わっていききたいと思います。



学生ボランティア団体の活動

東北大学では多くの学生ボランティア団体が活動しています。今回はその内4つの団体の活動を紹介します。



As One 上田 格 (工学部3年)

私たちAs Oneは「東北震災復興支援」「海外住居建築支援」「メンバーの居場所づくり」の3つをコンセプトとして活動しています。また国際NGOのHabitat for Humanity Japanの学生支部という一面もあり、全国26の大学と協力して活動しています。

東北支援に関しては3年経った今、必要とされている事であり学生にできることを一人一人が考えながら活動しています。海外ボランティアに関しては春と夏の長期休みにアジア圏を中心に支援チームを派遣し、貧困層の方々に対する住居建築支援をしています。

最近の活動として、5月に7つの大学を松島に招いて合宿をしたり、6月には青山学院大学の学生と合同でスタディツアーをしたりしました。これらの活動を通して共に考え、今後の東北支援に関して意見を交換し合いました。

Facebook: <https://m.facebook.com/profile.php?id=471979909598292>
Twitter: @tohoku_asone Email: tohoku.asone2013@gmail.com



学生による地域支援活動団体 みまもり隊 平野 智也 (工学部3年)

私たちみまもり隊は、2011年6月に結成し、魅力たっぷりの街、東松島を中心に農業を通じた復興支援をしている学生団体です。

私たちは、東松島に多くの人を呼び込み、東松島を活気あふれる街にしたいと考えています。そのために他団体と連携して東松島のブランド地野菜を創るプロジェクトを行っています。今年の5月には、東北大学ボランティア支援室さんと協力して、地野菜候補となる野菜の苗の「植え付けイベント」を行い、総勢22名で楽しく、植え付け体験やバーベキューを行いました。来る8月9日には収穫祭を行う予定です。みんなで楽しく地野菜を創り、それを様々な場所で売り、同時に情報発信していくことで東松島の魅力を内外にアピールしていきます。

代表: 中井 崇人 (理学部4年) Email: mimamori.311@gmail.com
TEL: 080-6702-3430 (代表) HP: <http://mimamori311.wix.com/mimamori>
Facebook: みまもり隊 Twitter: [mimamori_tai](https://twitter.com/mimamori_tai) FC2ブログ: <http://shienmimamori.blog.fc2.com/>



M Leaders 小林 紘樹 (工学部3年)

私たちMLeadersは、松島を拠点にし、「地域コミュニティを豊かにすること」をミッションとして活動する団体です。若手の旗手として、デザイン性豊かに町の革新を進めています。今までの活動と致しましては、松島地域活性化プランコンテスト(外部の若者を呼び込んだ合宿形式のプランコンテスト)や、どんぐりはうすプロジェクト(地域小学生を対象にしたコミュニティ活性化活動)を行ってきました。また、6月8日に、東北大学ボランティア支援室と共に松島の魅力を再発掘し、これからのまちづくりや観光を考える、マツシマネオビクニックを開催致しました。世界から松島へ、松島から世界へ、今、東北は変化を迎えようとしています。その中で私たちは町づくりへの挑戦を続けます。

Email: mleaders10@gmail.com <http://mleaders.wix.com/index>



キッズドア@東北 佐々木 祥人 (経済学部3年)

キッズドアは、学習支援、教育支援を行っています。キッズドアとしては被災地の中学校、小学校への支援も行っていますが、私たちキッズドア@東北チームは仙台駅近くの施設を借りて、中学3年生の受験対策講座【タダゼミ】と高校生生活応援ゼミ【ガチゼミ】を無償で行っています。

春夏は高校生の【ガチゼミ】中心に活動していました。受験生の頃でさえも勉強に集中できなかった生徒が、数学で満点とったり、作文コンクールで校内1位になっていた。そんな成長が見られた春夏でした。

さて、夏期講習から、中学生講座【タダゼミ】の方も本格的に始まります!受験生ということで、こちらも一層気合を入れてがんばっていきます!

Email: yssy444@gmail.com (佐々木) <http://kidsdoor-fukko.net/>